

中札内村総合行政推進委員会 第1回財政部会 会議録

日 時 令和2年8月25日(火) 19:00~21:00
場 所 農村環境改善センター 2階大集会室
出席委員 佐藤裕二、奥井千英子、杉本啓子、丹野 優、嶋崎直子、間船信子、鎌田 修
(7名)
欠席委員 山口公雄、林 雄司(2名)
事務局 総務課長 川尻年和、総務課長補佐 渡辺大輔、総務課主査 竹村幸二
住民課長 高島啓至、福祉課長 高桑佐登美

議 事

(開 会) 19:00

(川尻課長) 皆様お忙しい中、財政部会に出席いただきまして誠にありがとうございます。
本日は、令和元年度に実施した事業の内部評価結果について、皆さんから意見を頂くこととなります。現行の第6期まちづくり計画に基づく事業の評価になりますので、よろしく願いいたします。
それでは、佐藤部会長から挨拶をお願いいたします。

(部会長) 皆さんこんばんは。
政策評価の審議は、時間がかかりますので、スピーディに進めたいと思います。わからないことや難しいことがあると思いますが、質問していただき、範囲は多岐に渡りますが、よろしく願いします。

(川尻課長) これからの議事は、佐藤部会長の進行で進めさせていただきます。よろしく願いいたします。

(部会長) それでは、審議を進めさせていただきます。審議事項の令和元年度事業に関する政策評価について、まず政策評価全体の概要説明について事務局の方からお願いします。

(渡辺補佐) はじめに、政策評価の概要等について説明します。
政策評価とは、行政が実施している施策や事務事業について、業務の内容・成果を点検・検証し、その評価結果を次の政策の立案や推進に活かすことによって政策の質的向上を図るための手法であります。
また、村のまちづくり基本条例の第9章に政策評価を実施し、村民参加による評価を行うことと規定しています。
今回、第6期まちづくり計画の後期基本計画に基づき実施した事業の成果や進捗状況を評価して事業の改善点等を検証し、第7期まちづくり計画の策定に反映していきます。

評価にあたっては一次評価として担当課による評価、二次評価として村長による評価、三次評価として総合行政推進委員会による村民評価の3段階で評価を行い、それぞれの視点で事業に対する検証・評価を行っています。

令和元年度に実施した事業評価については、まちづくり計画の節毎の36項目について実施しています。

村長公約の進捗状況は32公約について実施状況の確認を行い、令和元年度における状況は、実施済みが19公約、一部実施が12公約、未実施・検討中が1公約となっています。

以上で、政策評価の概要についての説明を終わります。

(部会長) 今、政策評価全体の概要についての説明がありましたが、皆さんから質問等ありますでしょうか。

(意見等なし)

続いて、各実施事業の審議を始めて行きたいと思います。進め方について、事務局から説明をお願いします。

(渡辺補佐) 財政部会では、総務課、住民課、福祉課に係る「1編 みんなで歩む協働のまち」と「2編 健康で人にやさしいまち」の全部と「4編 活力あふれる産業を育むまち」の「1章 農業の振興」の「2節 有害鳥獣駆除の推進」、「5編 自然豊かで快適に暮らせるまち」の「3章 住みよい環境づくり」の「2節 環境衛生・美化対策の充実」及び、村長公約の進捗状況の「1 ともに支えあう共生の村」の全部と「トップの姿勢」の全部について審議を行います。

進め方としては、全部を説明すると時間が掛かりますので、課ごとにポイントをしぼり、政策評価と村長公約を合わせて説明した後、皆さんから意見を伺いたいと思います。

(部会長) ただいまの進め方についてはよろしいでしょうか。

(意見等なし)

それでは、始めに総務課から説明をお願いします。

(川尻課長) ー資料に基づいて説明ー

(部会長) ただいま総務課から説明がありました。それではみなさんの方から質問、意見をお願いします。説明のあった所以外でもかまいません。

(委員) くるくる号は、高齢者しか乗れないのでしょうか。

(川尻課長) 村民誰でも乗れます。以前は上札内保育園児がくるくる号に乗って、中札内きらきら保育園の事業参加に活用していました。

- (委員) 時間の変更や便数が増えたりしているのでしょうか。
- (川尻課長) 便数は増えていませんが、時間は利便性を高めるために変更してきています。養護学校でコミュニティバスを活用できないでしょうか。
- (委員) 生徒の利用までは考えていませんでした。普段使わないと時刻表の見方もわからず、なかなか利用しようということにならず、身近なものにならないのが実情です。
職場実習などもあるのですが、利用について考えたことはなく、30分程度歩いて行くこともあるので、利用の可能性はあるかもしれません。
- (川尻課長) 6区会館前に停まりますので、利用してみてください。
- (委員) 泉区はすごく高齢化しており、若い人がいない状況です。行政区の高齢化が更に進んでいった時、行政区の運営が機能するのか不安を感じています。後々高齢化した行政区の運営を、一部役場が担うことを検討してもらえないでしょうか。考えていただけると幸いです。
- (川尻課長) リフォームをして泉団地の改修を進めてきていますので、若い世帯も入れるようになってきています。2区についても高齢化してきていますが、若い人が古い住宅を買って住んでいる事例もあります。
行政区長会議の中で、区の課題については共有を図っていますので、話題提起していきます。
- (部会長) 他に無ければ、次に住民課から説明をお願いします。
- (高島課長) ー資料に基づいて説明ー
- (部会長) ただいま住民課から説明がありました。それではみなさんの方から質問、意見をお願いします。
- (委員) 国民健康保険ですが、北海道が財政運営の主体になることで保険税率が上がってしまい、今まで頑張ってきたことが無駄になってしまうのではないのでしょうか。メリットはあるのでしょうか。
- (高島課長) 一元的な管理をするという意味ではメリットはあると思いますが、自治体の業務量や負担が減ることはありません。他の高額な国民健康保険税を支払っていた自治体はメリットあるでしょうが、それほど高くなかった本村としてはあまりメリットがあるように感じておりません。

- (委員) 医療体制の維持・充実のところで医療機器の購入は高額という説明がありました。機器の購入にふるさと納税を財源として充てることはできないのでしょうか。
- (高島課長) できなくはないと思いますが、担当課で要望するものではありません。財政的な運用の問題です。
- (川尻課長) ふるさと納税は、昨年度、約7億1千万円集まっております。そのうち2億5千万円ほどをふるさと活性化基金、豊かな環境等創成基金、福祉基金、文化振興基金の4つの基金に積んでいるところです。医療機器の購入については、公共施設等整備基金を充て、ふるさと納税は充当していない状況です。
- (部会長) 診療所について、委託先は北海道家庭医療学センターで決まっているのでしょうか。
- (高島課長) 記載のところに決まっております。9月議会との記載がありますが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で準備は遅れている状況です。
- (部会長) 今の診療所に勤務されている医師が辞めることも決まっているのでしょうか。
- (高島課長) 辞める話としては前々からあったようですが、正式に今年度をもってという話をもらっているところです。
- (委員) 診療所の施設自体の改修予定はあるのでしょうか。
- (高島課長) 今は外科中心の体制ですが、次年度からは、内科と小児科中心になる予定です。発熱外来等に対応するため改修は必要かと思われ、相手先から要望も受けていますが現時点での決定事項ではありません。
- (委員) 現在、祖母がお世話になっていますが、クーラーもありません。私でも暑いと感じます。医療機器とは別に施設のメンテナンスが気になったところです。
- (高島課長) エアコン設置は個室対応の方法で検討中です。
- (委員) 医師を増やす考えはないのでしょうか。
- (高島課長) 今は1人、たまにもう1人という診療体制です。翌年度からの相手先から話が来ているのは1人です。ご存知かも知れませんが、相手先は更別村診療所を運営しているところと同じなので、その中での運用はあるかもしれません。

- (部会長) 他に無ければ、次に福祉課から説明をお願いします。
- (高桑課長) ー資料に基づいて説明ー
- (部会長) ただいま福祉課から説明がありました。それではみなさんの方から質問、意見をお願いします。
- (委員) 子育て支援センターの一時保育についてですが、保育園は6ヵ月から入園できますが、一時保育は1歳半からとなっています。一時保育の対象年齢を下げるのは難しいのでしょうか。
- (高桑課長) 以前は、NPO法人の夢というで未満児の託児を行っていましたが、難しくなり現在受け入れができない状況です。
一時保育で1歳半以下を預かることが出来ない理由は把握しておりません。
- (高島課長) 場所のスペースの問題と職員の人員体制の関係があると思います。
- (委員) 日によって対象年齢を変えたりしたら、対応できないでしょうか。柔軟に検討してもらえたらと思います。
- (高桑課長) 出来ない理由を確認し、取り組めるか検討します。
- (委員) 子育て支援の充実は望むところですが、福祉課の範囲が広すぎると思います。以前住んでいたところでは、子育て支援課などがある自治体もありました。
中札内村は、放課後児童クラブしか子どもを預ける場所がありません。部活などでほとんど利用していなくても、何かあった時に下の子と上の子が一緒のところにいる方が良いと思い預けています。
福祉課が多くの業務を抱える中で、子育てもというのは大変だと思います。子育てを専門とした部署があったらと思いました。
また、日本で最も美しい村とは、定義が何かあるのでしょうか。住んでいて心地が良いとかそういう部分も含まれるのではないのでしょうか。
- (川尻課長) 本村は、大課制を取っており、グループ長と主査がしっかりと業務を把握するような体制は取っています。しかるべき管理者、職員を置いています。確かに業務のボリュームはあるかと思いますが、しっかりと進めているところです。
- (竹村主査) 美しい村の定義ですが、前提として「日本で最も美しい村」連合というNPO法人があり、そこに本村は加盟しております。加盟するためには審査を経て加盟するのですが、本村は、以前あった北の大地ビエンナーレという全国絵画展と花づくりの会が進めてきた国道沿いのプランター設置など、花づくり運動

が評価されて加盟しております。

景観が素晴らしいだけでなく、文化的な側面も合わせもっていることが必要です。

(渡辺補佐) 補足ですが、今申し上げたのは美しい村連合の定義であり、本村としては、見た目だけでなく、子育て支援や教育の充実などにより住み続けたいくなるような住民の幸福感も含めて美しい村と位置付けています。

(部会長) 福祉灯油を毎年支給していますが、最終的に3月31日までに使いきれない人たちがいるようです。

使いきるために空いている容器に入れるようにしている方もいます。一人暮らしの高齢者などは使いきれない場合がありますので、何割かを商品券で渡してはどうでしょうか。過去には現金で渡していたような気がします。

(高島課長) 使いきれないのは高額支給の際の話かと思いますが、昔は灯油の価格が高騰した時の負担軽減を目的としておりました。現在は毎年支給していますので、意味合いは昔と変わってきています。灯油券よりも商品券を欲しい人がたくさんいることは認識しています。現在はオール電化など灯油を使用しない方は商品券ですが、過去に現金で支給する形を見直し、村内消費に結び付ける目的で商品券化しています。

(高桑課長) 方法として可能か検討します。

(委員) インフルエンザワクチン接種ですが、高齢者と妊婦を優先するようという記事を見ました。ただ、その対象者と一緒に暮らしている人も優先しないと意味がないと思います。たくさんのワクチンを確保することは難しいのでしょうか。何人分くらい確保しているのでしょうか。

(高桑課長) 全国総体で量が増えない限り、たくさんストックしておくことは医療機関として難しいと思っています。村の診療所は接種者が多いので、早めに確保はしておりますが、平年並みに確保しています。

全体の接種数は、子どもは2回分必要なので、1600人分ぐらいは確保していると思います。

(部会長) 他に無ければ、今日の審議はこれで終了したいと思います。
その他、次回の委員会について事務局からお願いします。

(渡辺補佐) 次回は、まちづくりアンケート調査の結果報告などを全体会で行いたいと考えております。10月を予定しております。

(部会長)

最後に、全体を通じて何かございますか。

以上もちまして、財政部会を終了させていただきます。長時間にわたり大変お疲れ様でした。

(閉 会)

21:00